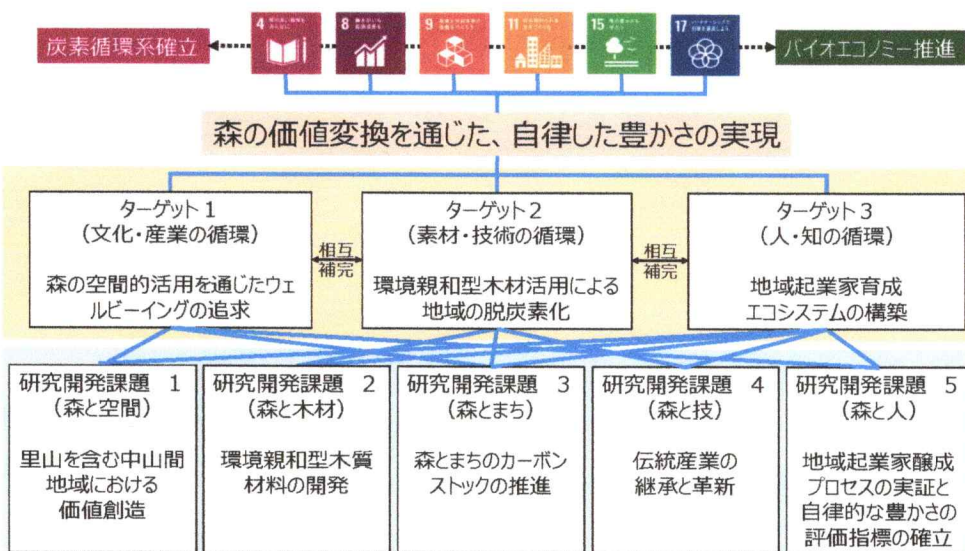


森の価値変換を通じた、 自律した豊かさの実現拠点



代表機関	秋田県立大学	プロジェクトリーダー	高田 克彦	秋田県立大学 木材高度加工研究所 所長・教授
幹事自治体	秋田県	幹事機関	国際教養大学、秋田公立美術大、(株)QO、サステナブル経営推進機構、(株)秋田銀行	
参画機関	京都大学、神戸大学、静岡大学、森林研究・整備機構 森林総合研究所 能代市、大館市、(株)竹中工務店、トヨタ車体(株)、(株)日建設計、(株)イトーキ、(株)長谷萬、森林資源バイオエコノミー推進機構(株)、(有)r-homeworks、詩の国秋田(株)			



地域拠点ビジョン(未来のありたい社会像)の内容

秋田県に実在する豊富な森林資源の革新的な利活用をキーワードに、森の価値変換を通じた資源・人材・経済の持続的循環を確固なものとし、地域の自律的な豊かさが体現される社会を構築します。文化・産業、素材・技術、人・知のそれぞれの循環システムの創造に向けて、大学発の研究シーズを核とした産学官金の連携を推進するとともに、地域の魅力を再定義して活かす起業家や次代の担い手の育成をフォローアップする価値創造拠点を設け、大学の教員、学生と自治体及び秋田県内外の民間企業の優秀な人材の連携が活性化する場を創造します。

地域拠点ビジョン実現の為のアプローチ

地域拠点ビジョンの実現に向けて、「森の空間的活用を通じたウェルビーイングの追求」、「環境親和型木材活用による地域の脱炭素化」及び「地域起業家育成エコシステムの構築」の3つのターゲットを設定します。これらのターゲットに関連する5つの分野(森と空間)、(森と木材)、(森とまち)、(森と技)、(森と人)において研究開発課題に取り組みます。研究開発課題の遂行と課題間の相互作用による多様な「森の価値変換」の提案と実践を通して、文化・産業、素材・技術、人・知の3つの循環の滞りの解消を目指します。

地域拠点ビジョン実現に向けた拠点の強み

秋田県は人口減少・高齢化の先進地域ですが、それ故、大学、行政や市民の課題解決に向けた危機意識が極めて高い地域です。豊かな森林資源を背景にした全国的にも希な木材産業の集積地でもあります。「技術:木質系材料・産業創出に資する開発と技術」、「教養:地域創造に不可欠な国際的視野に立った教養力」、「デザイン:新たなシステム創出に不可欠な芸術・デザイン力」において独特な強みを持つ3つの公立大学が集い、森の価値変換を通じた、自律した豊かさの実現という大きな社会変革に学際的に連携して取り組める点が強みです。

お問い合わせ先 秋田県立大学 地域連携・研究推進センター